

# 令和3年度 静岡県交付金整備計画等の評価に係る第三者意見取りまとめ

## 中間評価対象への意見

番号	整備計画名	第三者意見	対応
1	“ふじのくに”「命」を守る公園整備	(下川アドバイザー) ・バリアフリー化の定義を明確にした方がよい。移動等円滑化基準の適用は都市公園だけではなく、道路等の基準を含めて議論すべき。	・今後、同種の事業を実施する際は御意見を踏まえ計画する。
		(山内アドバイザー) ・定量指標以外の効果発現状況について、数値が示されておらず抽象的。	・御意見を踏まえ、「定量指標以外の効果発現状況」に明示可能な数値を記載する。

## 事後評価対象への意見

番号	整備計画名	第三者意見	対応
3	IC・駅へのアクセス向上による都市機能の強化	(下川アドバイザー) ・アウトカム指標の1つである中心都市等への30分行動圏人口カバー率については、伊豆縦貫自動車道など高規格道路の整備が大きく影響するため、影響の少ない街路事業の指標とするには疑問を感じる。この指標を進めていることを否定するわけではないが、今後、街路事業でこの指標を用いていくのか改めて検討したほうがよい。	・御意見を踏まえ、今後の街路事業整備計画のアウトカム指標を検討する。
		(五味アドバイザー) ・資料2-2について、写真の縮尺が違うのでわかりづらい。着前着後の変化を比較するのであれば、同じ縮尺の写真を用いるべき。	・御意見を踏まえ、資料2-2の写真の縮尺を変更する。
7	世界遺産「富士山」を中心とした山梨静岡交流圏域活性化計画（重点）	(原田アドバイザー) ・計画の成果として、道路の利用者が増えたことを示せるとよい。	・渋滞解消等、道路整備による様々な効果の発現状況を「定量指標以外の効果発現状況」に記載する。
		(五味アドバイザー) ・社会資本整備の効果は観光面だけではない。防災面でもボトルネックの解消は効果が高い。	・御意見を踏まえ、「定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況」に防災面の効果を記載する。
		(山内アドバイザー) ・計画名に「富士山」が入っているが、内容は伊豆地域の事業である。事業内容と見合った計画名設定がよい。	・御意見のとおり今後の計画名決定にあたって留意する。
		(山内アドバイザー) ・渋滞解消など観光以外の事業の効果も説明するべき。	・御意見を踏まえ、「定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況」に渋滞解消の効果を記載する。
		(下川アドバイザー) ・伊豆半島の観光客数は伸びているので、成果として「伊豆半島の集客に寄与している」ことを言ってもよい。	・御意見を踏まえ、「定量的指標の達成状況」に伊豆半島の観光入込客数増加を記載する。
9	静岡県森林整備農山漁村地域整備交付金計画	(原田アドバイザー) ・山の整備が適切に行われたこと及び安全が確保されたことにより林業経営の基盤づくりが進んだ、という事業効果が分かりにくいと感じたため、説明方法を工夫したほうがよい。	・御意見を踏まえ、「計画の目標」及び「定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況」を簡潔な記載内容に変更する。
		(五味アドバイザー) ・当該交付金の活用により林業経営が成り立つようになったとか、県内の林業経営が良い方向に向かっている、といった明るい未来を示してはどうか。	・御意見を踏まえ、「定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況」に森林整備の実施に伴う様々な成果を記載する。
		(五味アドバイザー) ・森づくり県民税を用いて行っている森の力再生事業では県民へ積極的な事業効果PRを行っている。広報の中であわせて交付金のことを説明するなど、全体でPRしてはどうか。	・御意見を踏まえ、「今後の方針等」に今後の広報の実施方針を記載する。
		(下川アドバイザー) ・事業効果として、価値を創出することが非常に重要だと思う。事業実施により、地域に対しこういった付加価値を上げることができた、とコメントできればより良い。	・御意見を踏まえ、「定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況」に広葉樹の整備とその効果を記載する。